

戸田市薬剤師会 臨時理事会議事録

記録日	R4.12.20
記録者	芹澤

日時	令和4年12月20日 13:00~15:30	出席者	染川、野口、小澤、鎌田、芹澤、 鯨井
場所	多世代交流館 A 会議室		

議 題

1. 議題

- 「理事会の開催について」

<検討内容>

- A) 理事会の開催頻度について
- B) 理事会の開催曜日、時間の再設定
- C) ZOOMによるハイブリッド開催の可能性について

- 「ZOOM 使用時のワンタイムパスワードの受け取りについて」

ZOOM 使用時「ワンタイムパスワードをきかれた」との報告あり。現在は本会のパソコンの無料で作れる outlook のアドレスを登録しており、それを預かっていたいただいているひつじ堂薬局伊藤先生に確認をとらなければならない。解決策について皆様の意見をお伺いしたい。

- 予防接種に関する研修会(注射の手技等の実技研修) について 資料添付
- 教育委員会から提供される学級閉鎖(新型コロナウイルス感染症による)の情報の取り扱いについて

2. 報告事項

- 薬学生実務実習エリア担当の件
- 医療介護連携ネットワーク会議報告
- 多職種連携ネットワークカフェ協力依頼
- 地域包括ケアシステムに関する研修について
- スタンプラリーアンケート結果報告(資料添付)
- 済生会川口病院院外全面発行の件(資料添付)
- 川口市薬剤師会 FAX 分業の件 経過報告

会議内容

染川会長の挨拶

1. 議題

- 「理事会の開催について」

<検討内容>

- A) 理事会の開催頻度について
- B) 理事会の開催曜日、時間の再設定
- C) ZOOM によるハイブリッド開催の可能性について

上記について、各役員より意見を聞いた。事前に欠席が判明していた役員にも聞き取り実施したことを説明。

武長副会長；開催は昼の時間帯で、3か月に2回くらいの頻度で行う。

小澤理事；仕事上お昼の時間帯は大変で、午前中が都合が良い。皆さんの意見に合わせるが、「毎月開催で時短」で行うのが良い。

鎌田理事；現在も仕事を抜けてきており、夜(19:30～)を希望。頻度は月1回で良いが、議論がまとまらないことが多いので、論点整理をしっかりと行うべき。

鯨井理事；現在の時間帯であると業務に支障が出るかどうかは別にしても、後ろめたさはある。地域連携委員会でも19:30頃からオンラインで会議して良い感じだったので、19:30～2時間くらいで行うのが良い。

芹澤副会長；業務時間外の夜が良い。開催は2か月に1回だと議論がいつも振り出しに戻ってしまうので、月1回に変更した経緯があるので、月1回が良い。

野口副会長；役員は立候補して出てきている以上、出席するのはマスト。どちらかと言われたら夜の方がハードルは下がると思う。

染川会長；時間帯はいつでも良いが、夜の方が皆さんが出席しやすいのであれば夜でも良い。場所がなければあおば薬局で行っても良い。

いろんな意見を勘案して夜の開催(19:30～)について検討する必要があるとの結論になった。

今後夜に出席できない役員の見解も聞いて調整することとなった。

また、リアル開催なのか、リアル+ハイブリッドの開催にするのかについても議論した。各委員からリアルのメリット、ハイブリッドのメリット、デメリット、ハイブリッドにする必要性についても議論した。結論は出なかったが、次回理事会はリアル+ZOOMでの開催で行うことを全会一致で承認された。

- 「ZOOM 使用時のワンタイムパスワードの受け取りについて」

ZOOM 使用時「ワンタイムパスワードをきかれた」との報告あり、現在は本会のパソコンの無料でつくれるoutlookのアドレスを登録しているが、野口副会長に作成して頂いた Gmail に変更することで全会一致で承認された。

<一般社団法人戸田市薬剤師会 Z O O M アドレス>

メールアドレス todayaku2022@gmail.com

パスワード 2022todayaku

- 予防接種に関する研修会(注射の手技等の実技研修)については、鎌田学術研修委員長で全会一致で承認された。

- 教育委員会から提供される学級閉鎖(新型コロナ感染症による)の情報の取り扱いについて、戸田市教育委員会から本会へ情報が提供されることとなった。会員への情報開示について議論した。HPの会員ページや Google のスプレッドシートを利用している情報開示など意見あり。継続して議論することとなった。

2. 報告事項

- 薬学生実務実習エリア担当について、次期戸田市エリア長がハロー薬局岡先生で一本化、理事会全会一致で承認された。

- 医療介護連携ネットワーク会議が開催された。課題は3つあるとのこと。

① 情報共有

② 入退院時の連携

③ 顔の見える関係作り

- 多職種連携ネットワークカフェ協力依頼2/16に開催。今回は薬剤師の関係する薬の話とのこと。
- 地域包括ケアシステムに関する研修については、地域連携薬局は全員受けることになるが、社内にて研修が済んでいる薬局あり。
 - スタンプラリーアンケート結果については、アンケート実施し、景品の有無やクイズの難易度などいろんな意見があった。この企画は継続することが大事で、5年後に参加市民500人規模を目指そうということで全会一致で賛同を得た。
 - 済生会川口病院院外全面発行の件に関しては、病院から会長に連絡があり、川口市薬剤師会と合同または都合が合わなければ個別に説明会実施。
 - 川口市薬剤師会 FAX 分業の件については、分業当時の契約について確認。3市での約束はあったが、契約書などの文書はないことがわかった。済生会川口病院の全面院外処方の県も含め、3市の薬剤師会による話し合いが必要との認識で一致した。
 - 保険薬局委員会より2月に戸田中央病院薬剤部との間で研修会を開催するとの報告あり。前回は病院の薬剤サマリーについて行い、今回は薬局側からの「服薬情報提供料3」を焦点にして話し合い、お互いを知るという意図があるとのこと。(2/24 予定)

決定事項

- 薬学性実務実習戸田エリア長に岡先生

検討事項

- 注射針回収の広報
- 医薬品流通の改善
- 会員薬局の麻薬備蓄
- 学校薬剤師委員会の活性化
- ホームページの活用
- 地域連携委員会の運用と当会のサポート体制
- 戸田市の薬剤師の掘り起こし
- 新たな会員区分の創設
- 戸田中央 H P 以外の病院との薬々連携
- 地域における麻薬の在庫と処方側との情報共有のあり方
- 会営薬局の設立
- ウォークラリーの実施
- 本会情報管理及び情報発信の一元化
- 川口済生会 FAX コーナーの手数料
- 理事会の開催時間と質、量の問題